

[INFORMATION]

■ 学校説明会 [HPよりご予約をお願いします]

5月30日(土) 14:30～16:00 10月17日(土) 14:30～16:00
 6月20日(土) 14:30～16:00 11月7日(土) 14:30～16:00
 7月25日(土) 10:00～11:30 12月19日(土) 14:30～16:00
 8月29日(土) 14:30～16:00

*終了後、個別相談、施設見学があります。

■ オープンスクール (5・6年生対象) [HPよりご予約をお願いします]

7月18日(土)・8月22日(土) 9:00～13:00

*授業体験、部活動見学、学食体験、施設見学、個別相談を行います。

■ 京北祭

9月19日(土)・9月20日(日) 10:00～15:00

*入試相談室を設置します。

■ 入試問題対策会【動画配信】

[HPよりご予約をお願いします]

12月21日(月)

■ 5年生(新6年生)以下対象 学校説明会&入試報告会

[HPよりご予約をお願いします]

3月20日(土) 14:30～16:00

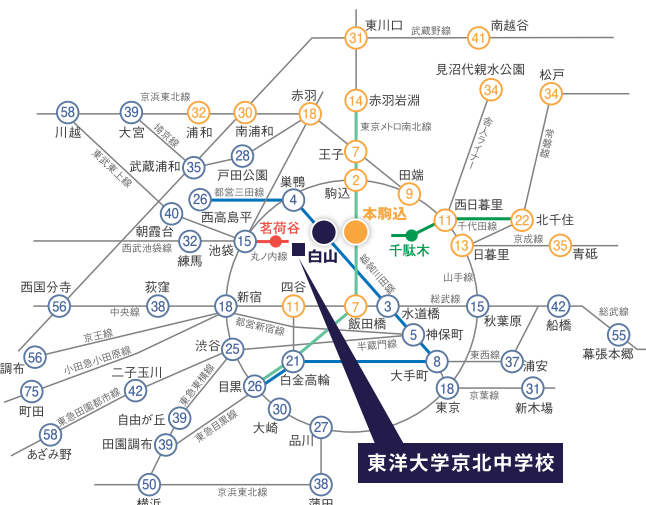
本パンフレットの内容は、2025年度実績または2026年度計画であり、変更する場合があります。

[MAP]



【最寄駅】三田線「白山駅」A2出口徒歩6分
 南北線「本駒込駅」1番出口徒歩10分
 丸ノ内線「茗荷谷駅」1番出口徒歩17分
 千代田線「千駄木駅」1番出口徒歩19分

[ACCESS]



○は「白山駅」までの所要時間(分)です。
 ○は「本駒込駅」までの所要時間(分)です。



東洋大京北アプリ

- ・ホームページの更新情報をいち早くお届けします。
- ・学校説明会やイベントの予約開始情報をお届けします。

ぜひダウンロードしてください! ▶▶▶



初回起動時の
2つの質問では、
「許可」をタップ
してください。

学校法人東洋大学

東洋大学京北中学校

ADDRESS 〒112-8607 東京都文京区白山2-36-5

TEL 03-3816-6211(代表)

WEB <https://www.toyo.ac.jp/toyodaikeihoku/>



〈ホームページ〉



〈X〉



〈Facebook〉



〈Instagram〉



TOYO UNIVERSITY KEIHOKU JUNIOR HIGH SCHOOL

より
良く
生きる

哲学する心が
成長の翼を与える



GUIDE BOOK 2027

東洋大学京北中学校

本当の教養を身に付けた 国際人を育成する

心がけ

正礼し 正聴し 尽瘁すれば 不可なく良生なり



｜ 建学の精神 ｜ 諸学の基礎は哲学にあり

東洋大学と本校を創設した生涯学習の先駆者

井上 円了博士 (1858-1919)

井上円了博士は東京帝国大学で哲学を学び、「諸学の基礎は哲学にあり」の精神を基として、真理の探究をはかる青少年の育成に情熱を注ぎました。1887(明治20)年に哲学館(現:東洋大学)を、1898(明治31)年に本校の前身である京北尋常中学校を創設。さらに社会教育の先駆者でもあり、5000回以上もの講演を行い、生涯学習の重要性を説き続けました。



東洋大学京北だから可能となる、多彩な能力の開花

本校は、東洋大学の創立者井上円了博士の建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」を教育理念として継承し、教育活動を展開して今年で128年目を迎えます。私たちは「授業が一番」を掲げ、「物事の本質を深く考え、自ら判断し行動し、人を愛し人から愛され、社会に貢献できる有為な人材の育成」に努めています。常に哲学する心を持って授業に臨み、生徒一人ひとりを大切に育てることを教育目標に掲げています。さらに「より良く生きる」ことをテーマとし、「本当の教養を身に付けた国際人の育成」を目的とし、全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。小学校と同じく6年間の学びの中で、皆さん一人ひとりが自分を深く見つめ直し、対話を通して思考力・判断力・表現力を高めていって欲しいと願っています。ぜひ私たちと一緒に、になりたい自分になるため、物事を俯瞰して見る力や自主性を持って突き進む力を身に付けていきましょう。皆さんも、そんな私たちの仲間に入りませんか？



校長

星野 純一郎

哲学的な
思考を養う
5つの要素

創造力

■哲学ラボ

東洋大学京北の礎

哲学教育

(生き方教育)

哲学を学ぶとは、何事に対しても

「なぜそのように言えるのか」「その根拠は何か」と常に問い続けること。

限られた経験の中で自己の価値観や世界から一步踏み出し、

先哲の英知と他者との対話によって思索を深めることが

より良く生きることに繋がります。

物事の真理を探究し、それを実践していく力を育み、

自分自身の軸を立てることが本校の哲学教育です。

論述

■中学必修科目「国語論理」
■哲学エッセーコンテスト

発表

■「哲学の日」

教養

考える土台となる
幅広い知識を身に付ける

■高校必修科目「倫理」
■生き方講演会
■名著精読

体験

机上の空論にならぬよう
五感を使って学ぶ

■哲学ゼミ(合宿)
■刑事裁判傍聴学習会

哲学的教養を育む必修科目 (2026年度)

授業「哲学」

中学

身近な事柄について自ら問い、考え、対話することを通して、自己の価値観を見つめ直し、常識にとらわれずに自問自答する力、「哲学的に考える力」を養います。

国語論理

中学

物事を論理的に考える力と、それを文章に表現する力を実践的に学ぶための時間です。物事を「分析」、「考察」、「表現」という三段階で学んでいきます。

倫理(必修)

高校

先哲と呼ばれる古今東西の思想家、宗教家、文学者たちの人生観・世界観を手がかりとして、「私たちはいかに生きるべきか」という問いに対して思索を深めていきます。

哲学教育チャート図

	全員必修		希望者選択			
中学1年						
中学2年	必修科目 「哲学」	必修科目 「国語論理」				
中学3年			哲学 エッセー コンテスト			
高校1年	「公共」 哲学思想史					
高校2年	必修科目「倫理」/ 名著精読		哲学ゼミ (合宿)	刑事裁判 傍聴 学習会	哲学ラボ (創造力育成)	永平寺 参禅
高校3年						アスペン・ ジュニアセミナー
3月「哲学の日」(哲学ゼミなどによる研究発表、名著精読、エッセーコンテストの成果発表など)						

より良い生き方を探究する学び

哲学エッセーコンテスト 中1～高2

多様な学びの経験を通して考えたことをさらに掘り下げ、自らが立てた問いに対して論理的に文章を構成します。自らの生き方について思索を深めるとともに、他者の生き方と向き合う機会にもなります。

哲学ラボ(創造力育成) 高1～高2

「2050年問題」について、真の解決方法を生み出すため、特許取得・企業訪問・国際会議への参加・ライデン大学訪問を通じて、創造力・実践力・国際的視点を身に付けます。その過程の中で、参加者各自が大学での研究テーマを見つけていきます。

名著精読 高2

書籍を読んで感じたこと、考えたことを語り合い、自分の考えを深めて文章にすることで、多角的なものの見方や考え方を身に付けます。名著に触れることで哲学的思索を深め、みずみずしい感性と物事の本質を探究する力を養います。

哲学ゼミ(合宿) 中3～高3

実体験を通して生まれる意見と自由な発想で議論を深める少人数制の講座です。その過程で互いを尊重し合うコミュニケーション能力も養います。調査研究、現地の方々との交流なども行い、年度末の「哲学の日」に研究発表を行います。

哲学の日 中1～高2

学祖井上円了先生の生誕月である3月に1年間の学びの成果を発表し、学びを深める日です。哲学ゼミや刑事裁判傍聴学習会などの研究発表、哲学エッセーコンテストの優秀者によるスピーチなど、学校全体が「哲学する空間」になります。

刑事裁判傍聴学習会 高1～高3

実際の刑事裁判を傍聴するほか、弁護士や新聞記者などを招いた学習会を実施します。裁判所は社会全体の正義と秩序を形成する場です。人の生き方や社会のあり方について思索を深め、多面的なものの見方を養います。



6ヵ年一貫教育学習プログラム

「本当の教養を身に付けた国際人」を育てる6年間の成長

Goal

Start

Step up

Step up



学年目標		自分と周囲の個性を認識し、 良好な人間関係を促進する			2年後の 成長の姿			多様な価値観を受け入れ、 自分の価値観を確立させる			4年後の 成長の姿			判断力と行動力を身に付け、 自立心を養う			6年後(卒業時)の 成長の姿			
		中学1年		中学2年				中学3年		高校1年				高校2年		高校3年				
学習指導 ▶P.7~8	●基礎・基本の徹底 ●学習習慣の確立		●得意科目のさらなる伸長 ●苦手科目に対する補習の徹底		●90分以上の自主学習が習慣化している ●深い考察の土台となる確かな知識を身に付けている				●中学内容の総復習、苦手分野の克服 ●高校教育を見据えた先取り授業の展開		●国公立大学に対応したカリキュラム ●難関進学クラスの設定		●120分以上の自主学習が定着し、自ら課題の発見と解決ができる ●立場を超えて俯瞰的に考察する力を身に付けている		●国公立大学に対応したカリキュラム ●難関進学クラスの設定 ●応用力を定着させ、問題演習の繰り返しを行う		●希望進路に沿ったクラス編成と授業カリキュラム ●前期時点で高校課程を修了 ●後期から受験力を高める教科指導		●国公立大学、難関私立大学をはじめとする志望大学への合格を実現することができる ●考察と判断を基にして行動に移すことができる力を身に付けている	
	学力定着システムCycle4／After School Program／Web学習(希望制)								学力定着システムCycle4／After School Program／Web学習(希望制)						学力定着システムCycle4／After School Program／Web学習(希望制)／大学進学対策講習(希望制)					
哲学教育 (生き方教育) ▶P.3~4	学年テーマ「他者と自己」 ●自ら問い、考える力を身に付ける ・居場所づくり ・本当の友人について考える ・坐禅を学ぼう		学年テーマ「自己」 ●物事を多面的に捉え、分析する力を養う ・ブレンストーミング ・自分の過去から未来まで繋げてみる ・私は何者か		●世間の常識や身の回りの事象に対して、主体的に判断しようとする ●友人と哲学的な探究ができる ●何のために学ぶのか考えられる				学年テーマ「自己と社会」 ●社会の中で、「より良く生きる」ために思索を深める ●論理的に考え、文章を構成して表現する力を養う ・必修科目「哲学」、「国語論理」		●先哲の思想を通して哲学的な問いを主体的に考える ・刑事裁判傍聴学習会 ・哲学ラボ(創造力育成・国際的視点) ・坐禅 ・哲学思想史(科目「公共」)		●古典から現代に至るまでの哲学的教養を基盤に思索を深め、自分の考えを論理的に表現することができる ●新たな発想で自己と社会を考える		●現代社会のさまざまな課題について主体的に考え、行動する力を養う ・哲学ラボ・坐禅・名著精読 ・アスペン・ジュニア・セミナー ・必修「倫理」・生き方講演会 ・哲学エッセーコンテスト		●国際社会におけるさまざまな課題について、自らの生き方と関連づけて考える ●自己の価値観を客観的にとらえ、対話を通して吟味する		●国際社会の諸問題を哲学的に洞察し、解決のために主体的な考えを持って「より良く生きる」ために行動することができる ●人々の幸福を実現する社会に向けて変革者となる	
	必修「哲学」／「国語論理」／哲学エッセーコンテスト								生き方講演会／哲学ゼミ(合宿・希望制)／哲学エッセーコンテスト						哲学ゼミ(合宿・希望制)／刑事裁判傍聴学習会(希望制)					
国際教育 ▶P.9~10	●異なる文化・言語について学ぶ ・Freshman English Camp		●異なる文化・言語を通して日本と世界を学ぶ ・Boost Up English Camp ・アイルランドサマープログラム(希望制)		●日本語で小論文が書ける ●英検3級以上を取得している ●外国人講師と積極的なコミュニケーションがとれる				●異文化体験を通して多様な価値観に触れる ●英検準2級以上を取得している ・カナダ修学旅行 ・TGG(東京グローバルゲートウェイ)訪問 ・アイルランドサマープログラム(希望制)		●視野を広げ、国際人としての資質を高める ●学校設定科目「国際英語」 ・オレゴンサマープログラム(希望制) ・ケンブリッジ英語検定 ・オランダプログラム(希望制)		●英語で論理的なスピーチを組み立てることができる ●英検2級を取得している ●多様な人と積極的なコミュニケーションをとることができる		●国際社会において自分の目標、役割を認識する ●学校設定科目「国際理解」 ●第2外国語(選択) ・オレゴンサマープログラム(希望制) ・ケンブリッジ英語検定 ・オランダプログラム(希望制)		●世界を視野に入れた自己実現を目指す ・高大連携アチーブングリッシュ		●英語で小論文が書ける ●英検準1級以上を取得している ●知識を身に付け、世界の平和について他者の意見も受け入れながら自分の考えを整理して議論することができる ●人々の幸福を実現する社会に向けて変革者となる	
	Let's Chat in English!(希望制)／英語スピーチコンテスト／国際講演会								Let's Chat in English!(希望制)／英語スピーチコンテスト／国際講演会						Let's Chat in English!(希望制)					
キャリア教育 ▶P.11~12	さまざまな職業について学び、 社会のあり方を知る ・進路面談 ・職業講演会		●社会生活を営む良識とルールを身に付けている ●協働や対話を通して、社会の一員であることを自覚する ・職業調べ ・進路面談 ・職業講演会 ・職業体験						職業と大学について考え、 将来への展望を広げる ・大学訪問 ・進路面談 ・進路講演会		●自己のキャリアの方向性を普段の学びと関連づけることができる ●将来への見通しを設定するとともに、粘り強く計画的に行動することができる ・進路講演会 ・進路面談 ・受験報告会 ・キャリア講演会 ・学習オリエンテーション合宿				●夢の具体化と実現への道筋を立てる ・「東洋大学」学び「LIVE」授業体験 ・進路講演会 ・大学進学相談会 ・進路面談 ・受験報告会 ・キャリア講演会 ・選抜型勉強合宿 ・東洋大学サマーアカデミア		●確かな学力を基礎として、なりたいたい自分へ飛躍する ・進路面談 ・進路ガイダンス ・出願指導面談 ・大学入学共通テスト説明会 ・大学入学共通テスト激励会 ・大学進学相談会 ・探究(進路探究)		●自己のキャリア実現への大きな一歩を踏み出す ●身に付けた学力と自己の哲学を国際社会の中で活かすように考えることができる	

「本当の教養を身に付けた国際人」として国際社会に羽ばたく

学習指導

LEARNING PROGRAM



TEACHER'S VOICE



学習指導
×
哲学教育

教頭
澤田 由佳

より良く生きる

基礎学力を土台に
深く考える力を育てます

本校では、基礎・基本の確実な定着を大切にするとともに、哲学教育の手法を取り入れた授業を行っています。知識の習得にとどまらず、「なぜそうなるのか」「自分はどうか考えるのか」と問い続ける学びを重視しています。対話や探究を通して物事の本質を考え、確かな学力を土台に、自ら考え、判断し、表現できる力を育みます。正解のない時代においても主体的に学び続ける生徒の成長を、学校全体で支えていきます。

学力の伸長を促し、国公立大学入試に対応した幅広い学習を実践するカリキュラム

中学では、基礎力の定着に重点を置きつつ、哲学教育を軸に、学力の3要素である①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・多様性・協働性を総合的な力として育みます。また、数学・理科・英語において一部先取り学習を行っています。高校では国公立大学入試に対応したカリキュラムで難関大学への進路実現を図ります。特に難関国公立大学入試はさまざまな教科を幅広く学習することが重要であり、総合的な学力が必要となります。また、難関私立大学入試においても4教科入試を導入する傾向であるため、選択科目も豊富に用意しています。

学習サポート体制

学力定着システム“Cycle4”

日々の朝テストを通して生徒の学力状況を分析し、理解が曖昧な箇所や苦手分野を把握します。反復を繰り返しながら理解度を高め、基礎学力定着の徹底を図ります。苦手分野がなくなること勉強への自信が付き、さらなる学習意欲を促します。



自習室とチューター制

放課後に使用可能な自習室は約150席と席数も豊富で、自己の学習計画に基づいて自主学習をすることができます。自習室には東京大学や早稲田大学などの学生チューターが4～5人が常駐しているので、わからないところはいつでも気軽に質問することができます。また、学習の仕方や受験に関する体験談、そして実際の大学生活などについても話を聞くことができ、学習意欲の向上にも繋がっています。



高校におけるクラス編制

難関進学クラス、進学クラスの2種のクラス編制

難関進学クラス

東京大学、一橋大学、東京科学大学などへの進学を目指すクラスです。附属校推薦を目的とすることなく、一般選抜を基本として難関大学を目指します。

進学クラス

国公立大学、難関私立大学、東洋大学への進学を目指すクラスです。多様な入試方式を活用し、第1志望への大学進学を目指します。

ASP (After School Program)

ASPとは放課後に行われる学習プログラムです。主要科目を中心に朝テストと運動し、目的に応じた取り組みが行われています。この他、英検級別対策講座（ライティングや二次試験の面接練習）を開き、弱点克服とスキルアップを図ります。



夏期・冬期講習

長期休業期間を利用して、夏期・冬期講習が行われます。学年の状況や目的に応じて、学習内容の充実や発展を図ります。高校では大学受験を目的として、講座形式や添削形式で、入試を見据えた実践力を強化することを目指します。



[中学校教育課程表] (2026年度)

教科	1年生	2年生	3年生	合計
国語	5	5	6	16
社会	5	5	5	15
数学	6	6	6	18
理科	5	5	6	16
音楽	2	1	1	4
美術	1	2	1	4
保健体育	3	3	3	9
技術家庭	2	2	1	5

教 科		1年生	2年生	3年生	合 計
外国語	英語	6	6	6	21
	英会話	1	1	1	
選択科目	国語論理	1	1	1	3
道徳(哲学)		1	1	1	3
総合的な学習の時間		2	2	2	6
特別活動		1	1	1	3
合計		41	41	41	123

[高校教育課程表] (2026年度)

■1年生

教科	
国語	現代の国語 2
	言語文化 2
	古典探究 2
地理歴史	歴史総合 2
	地理総合 2
公民	公共 2
数学	数学I 4
	数学A 2
理科	物理基礎 3
	化学基礎 2
	生物基礎 2
保健体育	体育 2
	保健 1
芸術	音楽I △2
	美術I △2
	書道I △2
外国語	英語コミュニケーションI 3
	論理・表現I 3
国際教育	国際英語 1
総合的な探究の時間	1
ホームルーム	1
合計	39

※△印を付した科目については、その中から1つ選択します。(学年毎)
 ※▲印を付した科目については、その中から1つ選択します。(学年毎)
 ※■印を付した科目については、その中から1つ選択します。(学年毎)
 ※()を付した科目は自由選択科目です。同一の印の中から1つ選択することができます。

■2年生

教科	
国語	古典探究 2
	論理国語 2
	文学国語 ■5
地理歴史	日本史探究 ▲4
	世界史探究 ▲4
	地理探究 ▲4
公民	倫理 2
数学	数学II 5
	数学B 3
	物理 ▲4
理科	化学 ■5
	生物 ▲4
保健体育	体育 2
	保健 1
芸術	音楽II (△2)
	美術II (△2)
	書道II (△2)
外国語	英語コミュニケーションII 4
	論理・表現II 2
	フランス語/ドイツ語/スペイン語/中国語/ハングル (□2)
家庭	家庭基礎 2
情報	情報I 2
国際教育	国際理解 1
総合的な探究の時間	1
ホームルーム	1
合計	39 (+0～4)

※△印を付した科目については、その中から1つ選択します。(学年毎)
 ※▲印を付した科目については、その中から1つ選択します。(学年毎)
 ※■印を付した科目については、その中から1つ選択します。(学年毎)
 ※()を付した科目は自由選択科目です。同一の印の中から1つ選択することができます。

※(□)は1つ選択できます。

■3年生(文系)

教科	
国語	論理国語 2
	古典演習 3
	論理演習 2
地理歴史	日本史探究 (△4)
	世界史探究 (△4)
	地理探究 (△4)
	日本史演習a ▲14
	日本史演習b 13
理科	日本史演習c (□2)
	世界史演習a ▲14
	世界史演習b 13
	世界史演習c (□2)
公民	地理演習a ▲14
	地理演習b 13
	地理演習c (□2)
	政治経済 (3)
	倫理演習 (2)
数学	数学C (4)
	数学演習 文a ▲14
	数学演習 文b 13
理科	基礎演習 物理基礎 (○2)
	基礎演習 化学基礎 (○2)
	基礎演習 生物基礎 (○2)
保健体育	体育 3
外国語	英語コミュニケーションIII 4
	論理・表現III 2
	英語演習 (2)
経済・経営	会計基礎 (4)
総合的な探究の時間	1
ホームルーム	1
合計	25 (+0～14)

※(△4)は、2科目目の地歴科目として選択可能です。演習の(□2)は(△4)とセットで履修となります。

※(○2)はどちらかを選択できます。

■3年生(理系)

教科	
国語	論理国語 2
	国語演習 (3)
地理歴史	政治経済 (3)
	倫理演習 (2)
数学	数学III ▲5
	数学C (4)
	数学演習 理a 3
	数学演習 理b ▲5
理科	理科演習 物理a ●4
	理科演習 物理b (○4)
	理科演習 物理c (■3)
	理科演習 化学a ●4
	理科演習 化学b (○4)
	理科演習 化学c (■3)
	理科演習 生物a ●4
	理科演習 生物b (○4)
	理科演習 生物c (■3)
保健体育	体育 3
外国語	英語コミュニケーションIII 4
	論理・表現III 2
	英語演習 (2)
経済・経営	会計基礎 (4)
総合的な探究の時間	1
ホームルーム	1
合計	25 (+0～14)

※(○4)は、2科目目の理科演習として選択可能です。

※(■3)は、理科演習aと同じ科目を選択可能です。

国際教育

GLOBAL EDUCATION



TEACHER'S VOICE



国際教育
×
哲学教育

国際教育推進部長
今橋 伸悟

より良く生きる

Invitation to our learning journey

「本当の教養を身に付けた国際人」とはどのような人のことでしょうか。答えを探すヒントは広い世界のどこにあるかわかりません。英語を身に付け、外国に出かけ、交流しましょう。常識や思い込みを越えて一度きりの人生をより良く生きる道を共に探しませんか。

国際人の資質を育む特色ある取り組み

- 英語4技能「読む・聞く・書く・話す」をバランスよく伸ばします。
- 異文化交流を通して国際理解を深め、相手の立場に立って考える態度を養います。
- 第2外国語としてドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハンガールを設置し、選択履修ができます。(高校)
- 学校設定教科「国際教育」を設け、国際社会で通用する思考力・判断力・表現力の素地を養います。

中学・高校における国際教育科目

「国語論理」

中学

学校設定教科「国際教育」

高校

論理的なものの見方や考え方を「分析」「考察」「表現」という三段階で学び、日本語をより良く活用する力を養います。

■国際英語…外国人講師と日本人教師によるオールイングリッシュの授業を通じて「実用英語」を身に付けます。
■国際理解…国際的な諸問題に対する知識を学ぶとともに、異文化に対して心を開く態度を身に付けます。

第2外国語
(選択制)

高校

英語以外の言語を学ぶことにより、物事を多角的にとらえ、視野を広げます。ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハンガールを選択して学習できます。

※希望者数により開講できない場合があります。

英検への取り組み

英検取得に向けた取り組みを積極的に行っており、原則として全生徒が受検します。

過去3年平均

中学3年修了時英検準2級以上取得

66%

うち、準1級、2級取得

18%

発展型国際理解プログラム

カナダ修学旅行



[11月:7日間]

中3

中学における国際教育プログラムの集大成としてカナダ修学旅行を実施し、5泊7日の行程でバンクーバーを訪問します。ホームステイを体験しながら現地校交流やテーマ別フィールドワークを行います。現地校交流では相互の学校で事前に準備したプレゼンテーション発表を行います。フィールドワークのテーマは「産業・行政、政治・文化、自然・生物」など。バンクーバーの市内見学ツアーも行います。



アイルランドサマープログラム



[7月:10日間]

中2～中3／希望制

豊かな緑とヨーロッパの落ち着いた雰囲気が共存するアイルランドにて、ホームステイをしながら現地語学学校に通います。アイルランドはヨーロッパ中の若者が英語を学びに来る土地です。したがって語学学校でのクラスは諸外国の学生との国際混成クラスとなります。午後のアクティビティでは現地の歴史や文化を学ぶとともに、観光やレジャーも満喫します。



Freshman English Camp [5月:2泊3日]

中1

アクティビティを通して、英語が自然と会話に出てくるような、英語を日常化するきっかけをつくります。入学から間もない時期に合宿型で行うことでクラス内の親睦を深め、学び合う学習体勢も整えます。



Boost Up English Camp [5月:2泊3日]

中2

キャンプでは、既に学んだ英語を使って会話を楽しみ、その面白さを体験することで英語の実用性を再確認し、英語への学習意欲をアップさせます。



TOKYO GLOBAL GATEWAY 訪問

中3

東京版英語村であるTOKYO GLOBAL GATEWAYを訪れ、英語コミュニケーションの実践としてのさまざまなミッションをクリアすることで英語の運用力を高めます。



Let's Chat in English!

中学・高校

東洋大学の留学生を本校に招き、じっくりと英語によるやりとりを行います。3回シリーズの参加を通じて、留学生との親睦も深まります。



英語スピーチコンテスト

中学・高校

自分の意見を英語で表現することを目的としたプログラムです。英文を論理的に組み立て、自分の思いを英語で表現する力を習得します。



高大連携アチーブイングリッシュ

高校

東洋大学のSGU(スーパーグローバルユニバーシティ)に関する取り組みの1つとして開講されている少人数英会話講座を、本校生徒向けにカスタマイズして実施。附属校推薦で大学進学が決定している生徒を対象に、大学での英語授業への備えとなるような内容を構成しています。



オレゴンサマープログラム(アメリカ)



[7～8月:12日間]

高1～高2／希望制

オレゴン州の家庭にホームステイをしながら、異文化体験・自然体験を行います。午前は現地校教員から英語を習い、午後はさまざまな場所へフィールドトリップに出かけます。果樹園、マルトノマの滝、ポートランド州立大学の見学や、ラフティング体験などを通して、太陽が降り注ぐ西海岸の夏を満喫します。約2週間の滞在期間を通してホストファミリーとの絆が生まれ、帰国後も長期間にわたって交流を続ける生徒もいます。



オランダプログラム



[9月:8日間]

高1～高2／希望制

オランダ最古の大学、ライデン大学を訪問し大学生と英語で哲学対話を行います。また現地高校における授業体験を通して友人をつくり、これからの世界を共に考えます。さらにEU本部や現地ベルギーのEU及びNATO日本政府代表部を訪問し世界情勢について外交官から直接お話を伺い、世界で活躍する方のキャリアを学び「幸福な世界」についての考えを深めます。



キャリア教育

CAREER GUIDANCE



TEACHER'S VOICE



キャリア教育
×
哲学教育

進路指導部長

湯澤 貴通

より良く生きる

どのように社会に出て自分を輝かせるのか、
思考と知見を深めて進路について考えていきます

これからの社会では、諸課題を主体的に解決する能力が必要となります。中学生の段階では、疑問をもったことに対して自ら考えるとともに協働して思考を深めること、世の中で発生している問題を「自分事」として考えることが重要です。教科学習を通じて思考の土台を築き、哲学の授業やさまざまなプログラムを通じて思考力を磨きます。また、有力企業や大学が集まる文京区の地の利を活かし、企業や大学に足を運び、問題を自分事としてとらえ、社会に出ることを見据えた進路選択を意識する進路指導を行います。

生徒と教員とともに歩む6年間

「やりたいこと」を見つけ、「できること」を見定め、「なすべきこと」を実行する。本校では、この3つを柱にして、一人ひとりにとって最良の進路を実現します。生徒たちは自分の興味・適性を確認すると同時に、大きく変動する社会にも目を向け、将来の自分の姿を思い描きながら、日々の取り組むべき課題を一つ一つ乗り越えていきます。その中で味わう「できた!」という喜びが自信となって、目標の実現に一步一步近づいていきます。丁寧な相談、丁寧な授業、理解できるまで終わらない補習・講習、英検講座など、あらゆる場面を通じて、より良く生きるための進路指導を行っています。



東洋大学への附属校推薦入学枠・推薦入学条件

本校の生徒たちには、東洋大学への附属校推薦入学枠が用意されています。日常の学習をしっかりと行い、一定の基準をクリアすることによって、附属校生としてのメリットを活かして東洋大学に進学することが可能です。大学までの一貫した教育により、哲学的・論理的思考力、国際社会を生きる力をさらに磨いていきます。

推薦入学条件

附属高等学校推薦入学試験要項に基づき、3年間の学業成績、模試成績、実用英語技能検定、出席状況、人物評価等総合的に判断して選考します。



自分の立ち位置を知る

学力推移調査

中学

ベネッセの学力推移調査を各学年において実施します。私立中学の生徒が受験者の大半を占めるテストで、問題は標準から応用レベルまでです。大学受験を見据えた学力的な立ち位置の推移を確認しながら、学習面での課題を見出します。

進路面談

中学・高校

学力推移調査の結果や生徒手帳などをもとにしながら、進路実現に向けて一人ひとりと面談を行います。学習面や生活面の悩みを洗い出し、課題を整理しながら今後とるべき方向性へ導きます。

生徒手帳『今⇄未来手帳』

中学・高校

学習計画の振り返りで自身の弱点に気づき、効率的な学習ができるように生徒手帳を活用しています。定期的に担任が点検し、進路面談などで活用されます。



生徒手帳『今⇄未来手帳』



社会との結びつきを知る

職業体験

中学

職業体験や職業見学を通じて、さまざまな職業への認識を深めることにより、社会との関わりを意識するとともに、将来への期待を膨らませます。

職業講演会

中学

最も身近な大人の職業選択の経緯や文京区で働く社会人との交流を通じて、さまざまな職業に目を向けるきっかけとします。また、将来のビジョンをもって今後の学習に前向きに取り組めるようにします。

TOKYO GLOBAL GATEWAY 訪問

中学

「グローバル」「ビジネス」「国際協力」の中から2つのテーマを選び、外国人インストラクターのリーダーシップのもとグループアクティビティを通じて将来の職業を考えていきます。



大学と大学での学びを知る

大学訪問

中学

事前に大学の特長や学部・学科について調べ、グループ別に大学を訪問します。学問の世界の広さや大学での学びとはどういうものなのか、また研究施設や実験設備を見学することで大学に進学するイメージをつかむことができます。

「東洋大学“学び”LIVE」授業体験

高校

東洋大学の各学部の先生方がそれぞれのキャンパスで行う1日限りの特別授業です。100講座以上の授業の中から、興味・関心のあるテーマを選んで自分で時間割をつくり、大学生の感覚で授業を体験します。

オープンキャンパスレポート

高校

夏期休業中に各大学のオープンキャンパスに参加することで大学進学へのモチベーションを高めます。各大学への理解を深めることで、より良い進路選択に繋がります。



サポート体制

進学指導検討会

中学・高校

進路指導部を中心に学力推移調査や実力テストの結果から、その学年の生徒が弱点としていることは何かということについて多面的に分析します。分析結果は教員研修で報告され、全教員で生徒の進路実現に向けて問題点を共有し、生徒をサポートします。

先輩たちによる受験報告会

高校

どのように努力を重ねて、志望大学への進学を実現したのか。受験を終えたばかりの先輩たちからリアルな受験体験についての話を聞く機会です。最も身近で合格を勝ち得た先輩の体験談を参考にして、自身の成功へと繋がります。

進路講演会

高校

大学入試に向けては正確な情報を得て、志望大学・学部を明確にすることが大切です。受験に勝ち抜くために今やっておくべきことを学びます。国公立大学・難関私立大学合格に向けて学習方法を点検し、意識を高めます。

理数教育 SCIENCE AND MATHEMATICS EDUCATION

フィールドワーク、研究活動、研究施設訪問などを通して、「生徒の学ぶ意欲の向上、知的探究心の芽生え」、「本校の教育理念である教養教育と真理の探究の実現」、「国公立大学を含む難関大学への進路実現」を目指します。

多角的な視点から物事を見る

理数教育では学年ごとに3つのプロジェクトを実施します。

これらのプロジェクトを行う中で、五感を通して感じる実体験を得て、自然を探究することで、探究心・知的好奇心を育成します。

理数探究部長より

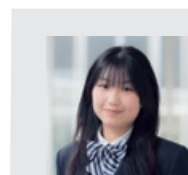
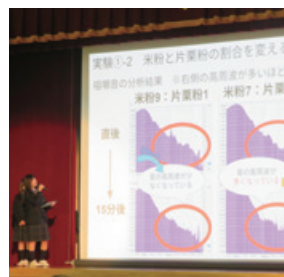
勉強とは知識と知識を繋ぐ活動です。本校の理数教育では、実体験に基づき、探究的に学びます。学校を飛び出して実物を観察することや、1年間探究活動を行うことで、授業で学習した知識を繋ぎ合わせ、理解を深めることを目指します。また、これらの取り組みのなかで、生徒たちの知的好奇心が刺激され、自ら進んで学習に励む生徒が多くなりました。理数科目の得意、不得意は関係ありません。ぜひ自然科学の世界を覗いてみてください。

未来の科学者育成プロジェクト 中学3年生対象

理科の学習で大切なことは「なぜ?」と様々な疑問を持つことです。このプロジェクトでは、食環境科学部・生命科学部・文学部・理工学部を中心とした東洋大学の先生の指導のもと、1つのテーマに沿って、たくさんの「なぜ?」を考え、身近な自然現象を科学的に探究していきます。1年間の活動で、実験を繰り返し、トライ&エラーを重ね、新しい発見が得られるように工夫を重ねて知見を深めています。3月には1年間の研究成果を中学校の全校生徒に発表します。

2025年度 5チームのテーマ・大学指導者 〈プロジェクトリーダー 食環境科学部 後藤 顕一 教授〉

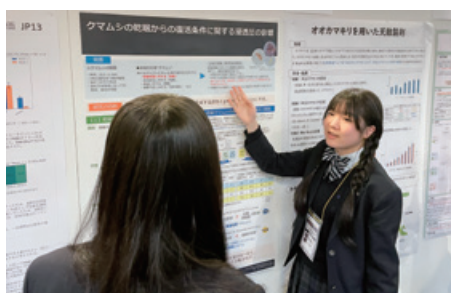
	テーマ	大学指導者
Aチーム	クマムシ探究プロジェクト:乾眠と適応の謎を解き明かせ!	生命科学部 生物資源学科 伊藤 政博 教授
Bチーム	煮干しを使って魚の生息環境を調べてみよう	生命科学部 生命科学科 小柴 和子 教授
Cチーム	料理は科学!“おいしい”はつくれる!	食環境科学部 食環境科学科 露久保 美夏 准教授
Dチーム	食事環境の整備で摂食量をコントロールできるのか	食環境科学部 健康栄養学科 大瀬良 知子 准教授
Eチーム	植物を助けてくれる菌、共生菌を探してみよう!	生命科学部 生物資源学科 宮田 佳奈 助教



高校1年
吉永 愛棋

私が参加したEチームでは、植物の成長を支える菌根菌をテーマに活動しました。このプロジェクトでは、大学の先生方と連携しながら実験を進める貴重な経験ができました。実験後にチームで結果をまとめることで、自分だけでは気づかなかった視点を見出すことができ、考えを深めるきっかけにもなりました。また、自分が理解するだけでなく、聞く人に簡潔に伝えることの大切さを実感し、研究成果を発表する達成感も得ることができました。

2024年度に未来の科学者育成プロジェクトに参加した生徒が外部の研究発表会に参加しました。8月には理科教育学会のジュニアセッションに、3月にはジュニア農芸化学会に別々のチームが参加し、研究結果をポスターで発表しました。理科教育学会では奨励賞を受賞しました。



KSST Jr 〈KEIHOKU Super Science Team Jr〉 中学生対象

中学の理科では「実体験を知識に繋げる」ことを大切にしています。KSST Jrの活動では、海・川・山などでフィールドワークを行います。目の前に広がる雄大な自然に対して、五感を通して触れることで生徒たちの科学的な好奇心を高めていきます。そして、科学的な視点で観察することで、教科書では知ることができなかったことに気づき、学びを深めていきます。他にも、理数講演会では社会で活躍されている科学者や技術者の講演を拝聴して、将来の進路に繋げていきます。



中学3年
樋口 悠

中1で参加した観音崎臨海実習では、今まで自分が見たり触れたりすることのなかった磯の生物と出会うとともに、博物館の方々からたくさんのことを教わりました。また、参加していた友達とも充実した思い出をつくることができました。中2の勝浦臨海実習では、対象生物を決めてより本格的な実験に挑戦しました。班で協力して生き物を採集し、自分たちで実験をして満足のいく結果を得られたことは、とても良い経験になりました。中3になった今年は、伊豆大島フィールドワークに参加して、これまでの実習にはなかった地層観察などを色々と学んできました。



観音崎臨海実習



勝浦臨海実習



伊豆大島フィールドワーク

KSST 〈KEIHOKU Super Science Team〉 高校生対象

KSSTでは様々な分野の最先端の研究に触れることで、自らの興味関心を高め、進んで知識を身に付け、さらに探究していくことを目指します。2025年度には化学の研究を行っているNIMSや理化学研究所などの研究施設や、再生医療を研究している企業(サイフューズ)の訪問を行いました。さらに、海外ではハワイ島でアカデミックフィールドワーク in Hawaiiを行いました。ハワイ島では火山がつくる大地やそこで生活する動植物の観察をします。また、国立天文台ハワイ観測所を訪れ、研究者の方から天文学の講義を受けたあと、実際に星観測を行います。生徒たちは、KSSTの興味のある分野のプログラムに参加して、より深い教養を身に付け、深く考えることで、進路選択に向けてのモチベーションを高めています。



アカデミックフィールドワーク in Hawaii



高エネルギー加速器研究機構



サイフューズ訪問



高尾山実習

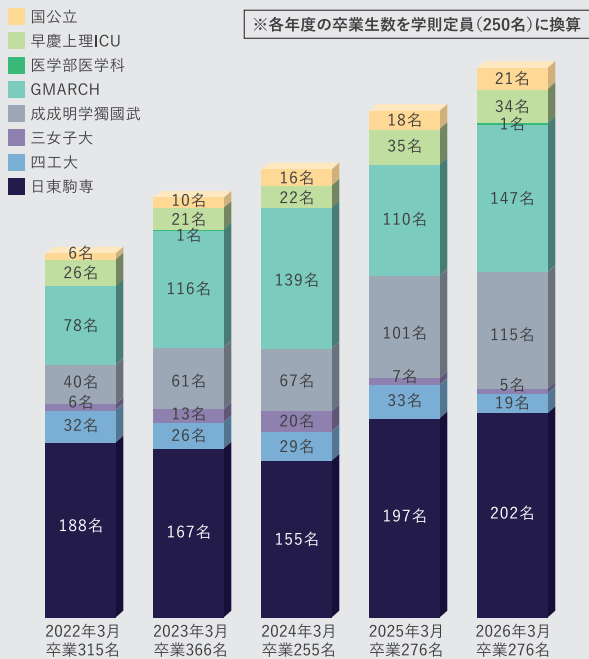


2026年3月卒業 横浜国立大学教育学部 進学 安孫子 七海

自ら学び、考え、行動する力を東洋大学京北で身に付けることができました。中3「未来の科学者育成プロジェクト」と高1「アカデミックフィールド in Hawaii」に参加した経験から、実験を組み立てて考察するプロセスや、課題を見つけて掘り下げる楽しさを知りました。この経験をきっかけに、日常の中で課題を見つけ探究することに興味を持ちました。そこで、理化学研究所の夏合宿など校外でのプログラムに参加したり、自ら教授にアポイントをとり大学の研究室を訪問させていただくなど、興味ある分野の探究を深めました。疑問に思ったことを調べ行動する中で、多くの人や価値観と出会い、新たな世界を知ることができました。先生方、企業の方、大学教授の方など多くの方々に支えられ、伸び伸びと探究活動ができたことと感謝しています。

2025年度大学合格実績

年度別大学合格状況 換算グラフ ※現役生のみ



大学群別合格状況 ※()は過年度生

学校名	人 数
国公立大学	25(2)
早慶上理ICU	37
医学部医学科	3(2)
GMARCH	163(1)
成成明学獨國武	129(2)
三女子大	7(1)
四工大	23(2)
日東駒専	225(2)
東洋大学	130(うち 附属校推薦 61)

中高一貫生(108名)主な大学合格状況

学校名	人 数	学校名	人 数
東北大学	1	立命館大学	5
千葉大学	4	関西大学	2
東京学芸大学	2	津田塾大学	2
東京農工大学	1	日本女子大学	2
横浜国立大学	1	成蹊大学	12
埼玉大学	1	成城大学	6
埼玉県立大学	1	明治学院大学	32
山梨大学	1	國學院大学	4
早稲田大学	7	武蔵大学	6
慶應義塾大学	3	芝浦工業大学	3
上智大学	3	東京電機大学	1
東京理科大学	5	東京都市大学	2
国際基督教大学	1	工学院大学	4
杏林大学(医・医)	1	東京農業大学	17
明治大学	19	東洋大学(うち 附属校推薦 11)	39
青山学院大学	8	日本大学	31
立教大学	15	駒澤大学	5
中央大学	7	専修大学	12
法政大学	28	獨協大学	6
学習院大学	8	星薬科大学(薬)	1

主な大学合格状況 ※()は過年度生

学校名	人 数	学校名	人 数
東北大学	1	学習院大学	11
筑波大学	1	立命館大学	6
千葉大学	4	関西大学	2
東京学芸大学	2	津田塾大学	3
東京農工大学	2	東京女子大学	2(1)
横浜国立大学	1	日本女子大学	2
埼玉大学	1	成蹊大学	21(1)
東京都立大学	3	成城大学	14
埼玉県立大学	3	明治学院大学	52
島根大学(医・医)	1(1)	國學院大学	13(1)
福島県立医科大学(医・医)	1(1)	武蔵大学	15
茨城大学	1	芝浦工業大学	8(1)
山梨大学	1	東京電機大学	5
新潟大学	1	東京都市大学	3(1)
室蘭工業大学	1	工学院大学	7
早稲田大学	13	東京農業大学	38
慶應義塾大学	5	東洋大学(うち 附属校推薦 61)	130
上智大学	7(1)	日本大学	54(1)
東京理科大学	11	駒澤大学	13(1)
国際基督教大学	1	専修大学	28
杏林大学(医・医)	1	獨協大学	14
明治大学	37	星薬科大学(薬)	2
青山学院大学	15(1)	北里大学(薬)	1(1)
立教大学	37	明治薬科大学(薬)	2
中央大学	18	東京薬科大学(薬)	1(1)
法政大学	45	東邦大学(薬)	1

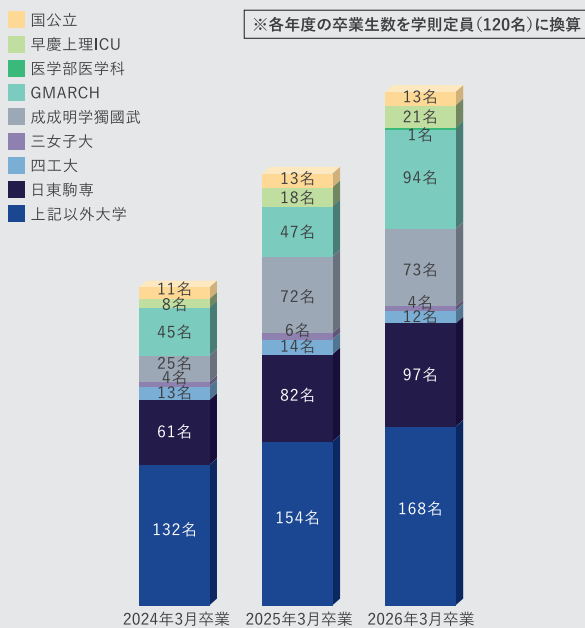
東洋大学附属校推薦合格状況

附属校推薦定員176名

進学者61名(うち中高一貫生11名)

学部名	人 数	学部名	人 数
文学部	7	理工学部	2
経済学部	2	社会福祉デザイン学部	3
経営学部	15	総合情報学部	4
法学部	2	生命科学部	4
社会学部	10	食環境科学部	2
国際学部	1	情報連携学部	1
国際観光学部	8		

中高一貫生(108名)年度別大学合格状況 換算グラフ



Graduate's Message

答えのない問いに向き合う「哲学教育」が、文武両道と合格の鍵に



2026年3月卒業
千葉大学
国際教養学部 進学
小柳 浩太郎

部活動と勉強を両立するため、私は時間の使い方を工夫するように心がけました。英語長文や現代文など集中力や読解力が求められる問題は部活動前に、英単語や日本史などの暗記分野は部活動後に取り組むようにしました。大学入試の二次試験対策では、古文の記述問題や日本史の論述問題に苦労しましたが、古文は語句の多様な意味を整理して覚え、日本史は先生に添削していただくなど、科目によって対処法を変えながら力を伸ばしました。このように自分で考えて行動する姿勢は、答えのない問いに向き合い、自分の考えを導き出すという「哲学教育」を通して身に付いたと感じています。千葉大学は留学が必須であるため、英語力だけでなく価値観を広げ、より物事を多角的に考えることができる人間になりたいと思います。

東洋大学京北での出会いと学びの中で広がった教員になる夢



2026年3月卒業
東京学芸大学
教育学部 進学
石塚 心葉

学校説明会で先輩方がいきいきと輝く姿に惹かれ、私もここで充実した学校生活を送りたいと思い、入学しました。初めて触れた「哲学教育」では、自分の考えを書き出して整理し、明確に伝える力が身に付きました。さらにグループディスカッションを通して、相手の意見を尊重しながら協力して考えを深める力も養われました。受験に向けては、チューターの方に学習計画を相談し、効率的に勉強を進めました。志望校の過去問を10年分解いたことも自信となっています。それでも悩んだり迷ったりした時は、先生方がとても親身になって相談に乗ってくださったことが心強かったです。将来は、小中高へと繋がる学びを支えられる小学校教員になることが目標です。

何事にも挑戦できる学習環境が私の土台を形づくってくれました



2026年3月卒業
杏林大学
医学部医学科 進学
倉井 遥花

自分の意見をアウトプットすることが苦手で、実は哲学エッセーは苦手意識を持っていました。毎年書くことに苦労しましたが、おかげで文章力は養われ、受験の際の小論文でもその経験は役に立ちました。また、「国際教育」ではオレゴンサマープログラムに、「理数教育」ではハワイでのアカデミックフィールドワークに参加しました。初めてのことばかりで不安もたくさんありましたが、一緒に行った仲間や現地の人々と関わり合うことで学びを深めることができました。これらの機会は、主体性を持って他者と協働することの大切さと、学ぶ姿勢を大きく成長させてくれる経験となりました。東洋大学京北で得た経験値を土台に、大学では知識や技術、コミュニケーション能力など、医師として必要な要素を身に付けて立派な医師になりたいと思います。

問いを深掘りし、実験やコンペに挑戦。探究心と明確なビジョンが合格の鍵に



2026年3月卒業
慶應義塾大学
環境情報学部 進学
田川 莉梨

「哲学教育」の一環である哲学エッセーコンテストは、身近なところから問いを見つけ、それについて深く考え抜く力を養う貴重な機会でした。答えのない問題に取り組むことは、先が見えない上に正解も分からないため不安になる時がありましたが、自分の考えを言葉にする経験は、言語化能力を高めるためにとても重要なだと気付きました。また、高1からニュージーランドへ1年間留学し、帰国後の高2の冬からは本格的に受験を意識するようになりました。自分が何を学びたくてどのような問いに関心があるのかを深掘りし、論文や書籍を読み進めました。さらには事業コンペに参加したり、学校でも実験の許可をいただいて1週間にわたる実験に挑戦したりもしました。将来のビジョンを明確にできたからこそ、受験を突破できたと思います。

多様な視点を育む「哲学教育」と「国際教育」。附属校の強みを活かし第一志望へ！



2026年3月卒業
東洋大学
経営学部 進学
杉浦 雄真

綺麗な校舎と「哲学教育」に惹かれ、入学を決めました。哲学の授業では、哲学エッセーなど自分の心と向き合う時間があるほか、他者と考えを共有する機会も多く、多様な視点の意見を吸収することで新たな気づきを得ることができました。また「国際教育」ではさまざまな国のネイティブスピーカーとの交流で国際社会の情勢を知り、自分が将来どのように関わっていくかなどを考える良い時間となりました。このような哲学的教養と国際的教養を身に付けられただけでなく、実際に大学の講義を体験できたことも附属校である東洋大学京北ならではのです。いくつか進学候補の学部があったのですが、学びたい分野が明確になり、第一志望の学部への進学に繋がりました。大学でも将来の目標に向けて専門的な知識を深めていきたいと考えています。

SCHOOL DAYS

学校生活

生徒たちの元気な声が響き合う学び舎。今日も一日、充実した時間を過ごそう！

●本校は2学期制です。 ●ノーチャイム制を導入し、自分で時間を管理する習慣を身に付けます。 ●最終下校時刻は平日18:40で、土曜日は17:00です。



～8:10



登校

4つの路線が利用できる便利な立地。
8:10にSHRが始まります。

前期・後期の
2学期制！



8:10～8:25



SHR

諸連絡のほか、朝テスト、朝読書、ネイティブの先生によるMorning English(英語のアクティビティ)が行われます。

ノーチャイム制
を導入！



8:30～12:00



午前授業（4時限）

授業時間は45分です。午前の授業は4時限あります。土曜日は4時限授業です。



12:00～12:45



昼休み

ランチボックスの昼食を教室で食べます。※ランチボックスは1年生は全員、2・3年生は希望制となります。2・3年生の希望者は約70%です。



12:45～15:20



午後授業（3時限）

昼休み後は授業が3時限あります。学びの場は校内各所に！



最終下校時刻は
平日 18:40
土曜日等 17:00



SHR・放課後（ASP・部活動）

ASP(After School Program)で講習や補習を受講したり、部活動や自習室での学習の時間に活用しています。

Topic 1

ランチボックスとは

中学

本校では、中学1年生は全員が、2・3年生は希望制として、ランチボックス型の昼食を導入しています。東洋大学生協より、主菜・副菜・主食・デザートなどが提供されています。メニューは栄養士により作成され、メニュー表には、食品を栄養の働き別に点数化した3群点数、アレルギー情報、エネルギー量が明示されていますので、安心して食べることができます。昼食は教室にて、先生と一緒に食べています。

※ランチボックス型昼食は月～金曜日の実施となります。土曜日はありません。



制服紹介



女子のスラックスもあります



Items



カーディガン



バッグ



バックパック

Topic 2

ICTで学ぶ

生徒たちは1人1台のChromebookを持ち、学校生活のさまざまな場面において効果的・効率的に活用しています。さらに、授業を始めとする学習活動においても、学習効果をより高めるためにICT教育を進めています。そして、生徒と教員双方の授業、生徒同士の意見交換や共同作業、さまざまな情報の収集や共有など、生徒が主体的・能動的に学ぶ授業、多様性に富んだ授業を実現させていきます。Chromebookと各教室のICT機器の効果的な活用により、これからの時代に求められる「思考力」「判断力」「表現力」を育成する授業を展開していきます。



EVENTS

年間行事

仲間との絆を深め、新たな自分を発見する体験が生徒の人間力をさらに高めます

※以下の年間行事は2026年度の予定です。



Boost Up English Camp



合唱コンクール

クラスの心と歌声をひとつにして、課題曲と自由曲を歌います。白熱する行事のひとつです。



Freshman English Camp



鎌倉自主研修



アイルランドサマープログラム



英語スピーチコンテスト



哲学の日



学祖墓参



大学訪問



京北祭

催し物の企画から飾り付けまで生徒主体で動きます。校内が1年で一番盛り上がります。



カナダ修学旅行



体育祭

学年縦割り対抗で競い、徒競走やダンス発表などでとても盛り上がります。

STUDENT'S VOICE



行事を通して見つけた
自分の役割と成長

中学2年
羽田 竜盛

一番印象に残っている行事は、Freshman English Camp です。なぜなら入学後初めての行事であり、この活動を通してクラスの人々と一気に仲が深まったからです。英語を学び始めたばかりで上手く話せるか不安もありましたが、ネイティブの先生たちが優しく丁寧に教えてくれたので楽しく取り組むことができました。また、合唱コンクールも思い出深い行事の一つです。クラス全員で協力して一つのものをつくり上げる中で、自分に何ができるのか、どう周りを支えるべきかを主体的に考えるようになり、自身の成長を実感しました。今後は体育祭実行委員などの活動にも積極的に携わり、さらにたくさんの思い出をつくっていききたいと思います。

4月 / April

- 入学式
- 前期始業式
- オリエンテーション
- 進路面談
- 学習オリエンテーション合宿(高1)

7月 / July

- 第2回定期考査
- 大学進学相談会(高2・3)
- 国際講演会(高)
- ケンブリッジ英語検定(高1)
- 刑事裁判傍聴学習会(高1・2)
- 合唱コンクール(高1)
- オレゴンサマープログラム(高1・2)
- アイルランドサマープログラム(中2・3)
- KSST Jr観音崎臨海実習(中1・2)

5月 / May

- Freshman English Camp(中1)
- Boost Up English Camp(中2)
- キャリア講演会(高2)
- 防災訓練
- 第1回定期考査
- 学祖墓参(中1)
- 理数校外学習(中2)
- 大学訪問(中3)
- 生徒総会
- 健康診断
- 学祖の日(高1)
- 授業公開

8月 / August

- 夏期講習
- 哲学ゼミ合宿 永平寺参禅(中3・高)
- KSSTプログラム[自然](高)
- KSSTプログラム[化学・地学](高)
- 東洋大学サマーアカデミア(高)
- KSST Jr伊豆大島フィールドワーク(中3・高1)

6月 / June

- 理数講演会(高1)
- 体育祭(高)
- 三者面談(高3)
- 国際講演会(中)
- 「東洋大学“学び”LIVE」授業体験(高)
- 未来の科学者育成プロジェクト開始(中3)

9月 / September

- 三者面談(高3)
- 京北祭
- 前期終業式
- 附属校推薦選考会(高3)
- オランダプログラム(高1・2)
- KSSTフィールドワーク in Hawaii(高)
- 哲学ラボ(高1・2)
- 荒川地学巡検(中2)
- 哲学ゼミ合宿(高1・2)

10月 / October

- KSSTプログラム[物理](高)
- 職業講演会(中1・2)
- 進路面談
- 第3回定期考査
- 小石川植物園訪問(中1)
- 職業体験(中2)
- 東京グローバルゲートウェイ訪問(中3)
- アスペン・ジュニア・セミナー(高2)
- Let's Chat in English!
- 三者面談(中1～高2)
- チュータープログラム(高1)

1月 / January

- KSSTプログラム[生物](高)
- アスペン・ジュニア・セミナー(高2)
- 理数講演会
- 英語スピーチコンテスト(中1～高1)
- 進路面談
- 高大連携アーチーピングリッシュ(高3)

11月 / November

- 生徒総会
- カナダ修学旅行(中3)
- 修学旅行 沖縄(高2)
- 防災訓練
- Let's Chat in English!
- 東洋大学英語スピーチコンテスト(高)
- アスペン・ジュニア・セミナー(高2)
- チュータープログラム(高1)

2月 / February

- 哲学エッセーコンテスト
- 進路講演会(中3～高2)
- 芸術鑑賞(中1)
- 鎌倉自主研修(中2)

12月 / December

- 第4回定期考査
- 三者面談(高3)
- KSSTプログラム[医療企業](高)
- 合唱コンクール(中)
- ケンブリッジ英語検定(高2)
- アスペン・ジュニア・セミナー(高2)
- 大学入学共通テスト激励会(高3)
- 冬期講習(中1～高2)
- 選抜型冬期勉強合宿(高2)
- 哲学ラボ(高)

3月 / March

- 第5回定期考査
- 未来の科学者育成プロジェクト報告会(中)
- 哲学の日
- 「東洋大学“学び”LIVE」授業体験(高)
- 3年生を送る会
- 修了式
- 卒業式

男子バスケットボール部



活動場所
第1アリーナ

部員メッセージ

伝統である速攻を中心に日々チームワークを大切に練習しています。また、文武両道を常に意識し、日頃の生活でもしっかりと行動するよう努力しています。

女子バスケットボール部



活動場所
第1アリーナ

部員メッセージ

日々の練習は、基本技術の習得を中心にを行っています。練習や試合を通して仲間と協力し合うことも大切にしています。目標は、大会で1つでも多く勝ち進むことです！

女子バレーボール部



活動場所
第1アリーナ

部員メッセージ

週3日の練習は、基本技術の習得を中心にを行っています。練習や試合を通して仲間と協力し合うことも大切にしています。目標は、大会で1つでも多く勝ち進むことです！

バドミントン部



活動場所
第1アリーナ

部員メッセージ

週3日練習を行い、部員同士仲が良く和やかな雰囲気を持ちながら、メリハリをもって励んでいます。初心者がほとんどのため、基礎練習を中心に取り組み、大会前はゲーム練習をしています。

吹奏楽部



活動場所
音楽室 他

部員メッセージ

現在中高あわせて40人ほどで、各種演奏会に向けてパート練習やセクション練習、合奏と内容を変えながら練習を重ねています。自分たちの音楽をつくるため部員同士意見を出し合いながら楽しく活動しています。

美術部



活動場所
美術室

部員メッセージ

感性。対象(人・もの)からの刺激を敏感に深く感じ取る能力。美術部は、感性の豊かな人の集まりです。絵画・彫刻・工芸・デザインといったさまざまな分野から、自分の興味のあることで作品をつくっています。

英語部



活動場所
English Conversation Room

部員メッセージ

放課後にEnglish Conversation Roomに集まって、ネイティブスピーカーの先生や日本人の英語の先生と英会話を楽しんだり、英語でゲームをしたりして、英語コミュニケーションに親しんでいます。

家庭科部



活動場所
被服実習室・調理実習室

部員メッセージ

普段は、調理・被服ともに製作を行っています。京北祭では、学年を越えて部員全員で製作した物を販売するなどの活動を行っています。

文芸部



活動場所
学習室

部員メッセージ

文芸部は、中高合同で活動しています。主な活動は、作品執筆、文集「文禄庵(ぶんろくあん)」の編集・発行です。このほか、三題断りリレートークなどで、楽しみながら言葉のセンスを磨きあっています。興味のある方の入部をお待ちしています。

華道部



活動場所
被服実習室

部員メッセージ

スタート時は部員全員が初心者ですが、池坊の講師による専門的な指導を受け、楽しく創作活動を行っています。上達具合によっては免状を取得することも可能です。

卓球部



活動場所
卓球室

部員メッセージ

アットホームな部です。先輩も後輩も仲が良く同時に、お互いによりきライバルです。初心者・経験者の区別なく、技術の向上のために専用の卓球室で活動しています。

剣道部



活動場所
剣道場

部員メッセージ

「いつまでやれるか」より「どう楽しむか」。歳に合わせて間いを変えながら、新たな自分に出会える。それが剣道の魅力。

茶道部



活動場所
和室

部員メッセージ

席入りの仕方、お菓子のいただき方、お茶の点て方などの割稽古から、盆略点前、薄茶運び点前へと練習を進めます。皆初心者からのスタートです。3年間活動すると裏千家奨励証が与えられます。

園芸部



活動場所
学校内花壇

部員メッセージ

学校内の花壇で花を育てたり、野菜を栽培して収穫をしたりしています。自然に親しめる地球と学校に優しい部活動です。部員は皆仲が良く和やかに活動しています！

男子サッカー部



活動場所
グラウンド・校外グラウンド

部員メッセージ

週4日、人工芝のグラウンドで練習をしています。目標である都大会出場に向けて、チーム一丸となって努力しています。初心者も基礎から練習するので大歓迎です。

野球部



活動場所
グラウンド・校外グラウンド

部員メッセージ

校庭での練習が中心ですが、月に1日程度と夏期休業中は校外グラウンドを活用して練習を行っています。初心者でも楽しめる雰囲気を大切にしながら、ブロック大会出場を目指して練習に励んでいます。

理科部



活動場所
化学室

部員メッセージ

部員や顧問の先生からの提案をもとにして、実施する実験の内容(化学実験、生物実験など)をみんなで相談しながら計画し、週2日楽しく活動しています。理科に興味がある人の集まりです！

演劇部



活動場所
学習室

部員メッセージ

京北祭での公演を目標に活動しています。発声などの基礎練習はもちろん、シアターゲームを通じて部員同士のコミュニケーションを深めたり、エチュードを行ったりします。

陸上競技部 (トラック競技のみ)



活動場所
グラウンド

部員メッセージ

都大会入賞を目標に週4日活動しています。部員数は中高、男女合わせて70人を超えています。それぞれのパートに分かれて仲良く練習をしています。

トレーニング部



活動場所
柔道場

部員メッセージ

基礎体力をつけることを目標に活動しています。ラダー、腹筋ローラー、バランスボール、縄跳び、鉄アレーを使って楽しく運動しています。週2日、23名で活動しています。女子生徒も活動しています！

合唱部



活動場所
音楽室

部員メッセージ

全員でハーモニーを楽しみながら、大会の課題曲からポピュラーな曲までさまざまなジャンルの歌に取り組んでいます。部員が一体となり良い合唱をつくり上げることを大切に日々頑張っています。

かるた部



活動場所
和室

部員メッセージ

かるた部は中高合同で活動しています。競技かるたの経験がない人も決まり字を覚えるところから頑張っています。大会に積極的に参加しながら腕を磨いています。

CLUB ACTIVITIES 部活動

心身と技術を磨く部活動から多彩な趣味・興味を刺激する部活動まで



グラウンド

全天候型の200mトラックと人工芝の校庭で足腰に負担がかかりにくい仕様です。また土汚れを気にすることなく、思う存分に活動することができます。

図書室

グラウンドを一望する大きな窓と高い天井が特徴で、約3万冊の蔵書を揃えています。開放的かつ静かな空間で読書や学習に集中できます。

FACILITIES

施設紹介

知的探究心と学習意欲をかきたてる
多彩な学びの空間

こちらから
360°パノラマビューで
バーチャル施設見学が
できます。



スタディ・デッキ

各階の廊下にいつでも気軽に学習できる学習机が設置されています。明るい自然光のもとで友人と切磋琢磨しながら学習できます。



視聴覚室

ICT設備を備えた300人収容可能な広々とした空間です。講演会や集会などの学校行事に利用します。



自習室前学習スペース

友だち同士で教え合えることができる自習スペースです。赤本やコピー機なども備わっています。



自習室2

約150席を用意しています。「私語厳禁」で、生徒一人ひとりが学習に集中できます。



美術室

安全面に考慮した、機能的で広い作業スペースになっています。創作活動に取り組みます。



音楽室

音楽室は2室あり、2台のグランドピアノや多くの楽器の他、音楽鑑賞に適した音響機器が整っています。



第1アリーナ(体育館)

バスケットボールコートが2面取れる広さがあり、体育授業や部活動のほか、さまざまな学校行事にも活用されます。



第2アリーナ

壁面ミラーを備え、ダンスなどの室内種目に適しています。



普通教室

明るく広々とした教室は、集中して学習に臨むことができます。



職員室前学習スペース

先生にすぐ質問できるこの学習スペースは、生徒たちに大人気の学習スペースです。



生物室

理科の特別教室は他にも化学室、物理室があります。



理科室(中学用)



和室

茶道・華道などの活動もできる本格的でゆとりある2間続きの和室です。



English Conversation Room

英会話・多読用の2部屋があります。放課後はそれぞれに専任ネイティブ教員が常駐し、生徒の学習をサポートします。



カフェテリア

育ち盛りの生徒たちに安価で質の高い食事を提供します。(※中学生は教室にて、ランチボックスまたは持参した弁当を食べます。)



売店

文房具、制服関連小物、おにぎり・パン類、飲み物などを販売しています。